

## 観察野鳥一覧

項目番号	種名		4/21	5/19	6/16	7/21	8/18	9/15	10/20	11/10
1	アオゲラ	留鳥	○				○			
2	アオサギ						○			
3	アオジ				○					
4	アオバト				○					
5	アカゲラ	留鳥	○	○			○		○	
6	アトリ	冬鳥	○							
7	イカル		○	○					○	
8	ウグイス		○	○	○					
9	エナガ		○		○				○	
10	カケス		○							
11	カシラダカ	冬鳥	○							
12	カルガモ		○		○					
13	カワラヒワ		○	○			○			
14	キセキレイ						○			
15	キビタキ	夏鳥		○	○		○			
16	キジバト				○					
17	コガラ			○	○				○	
18	コゲラ	留鳥	○		○		○		○	
19	コルリ	夏鳥		○						
20	サンショウクイ	夏鳥	○	○	○					
21	シジュウカラ		○	○	○				○	
22	センダイムシクイ	夏鳥	○	○	○					
23	ツツドリ	夏鳥			○					
24	ツバメ		○							
25	トビ		○				○			
26	ノジコ	夏鳥		○	○					
27	ハシブトガラス		○	○					○	
28	ハシボソガラス				○		○			
29	ヒガラ		○		○				○	
30	ヒヨドリ			○			○		○	
31	ホオジロ		○	○	○					
32	ホトキス	夏鳥			○					
33	マヒワ	冬鳥	○							
34	メジロ				○					
35	モズ								○	
36	ヤマガラ		○							
			21	14	19	0	10	0	10	0

計36種 觀察

記録:小林1号2号

半年の間、お世話になりました。

まだ新米のためあまりお役にたてなかつたと反省しています。

一般的に、最近鳥の数が減つたとベテランの人たちが言っていますが、

「市民の森」でも、以前と比べると鳥の数が少なくなつたと聞いていたのですが、

アトリ、カシラダカ、マヒワなどの冬鳥(日本より北の地域から越冬のために南下する鳥)や

キビタキ、コルリ、サンショウクイ、センダイムシクイ、ツツドリ、ノジコ、ホトトギスなどの夏鳥(日本より南の地域から繁殖のために夏にやってくる鳥)が

見られました。

このほかにキツツキの仲間などの留鳥(一年中暮らしている鳥)なども見られる、バードウォッチングを十分楽しめる場所だと思いました。

殊にコルリやノジコなどはわざわざこれらを見るために訪れる人たちもいる鳥たちだと思います。

ただ鳥の写真を撮っている人たちがあまり多くなるといろいろ弊害も出るので注意が必要かもしれません。

参加して感じたことは、もっと経験のある人が参加したらあと数種(5~6種類)は見つけられたのではないかと思いました。

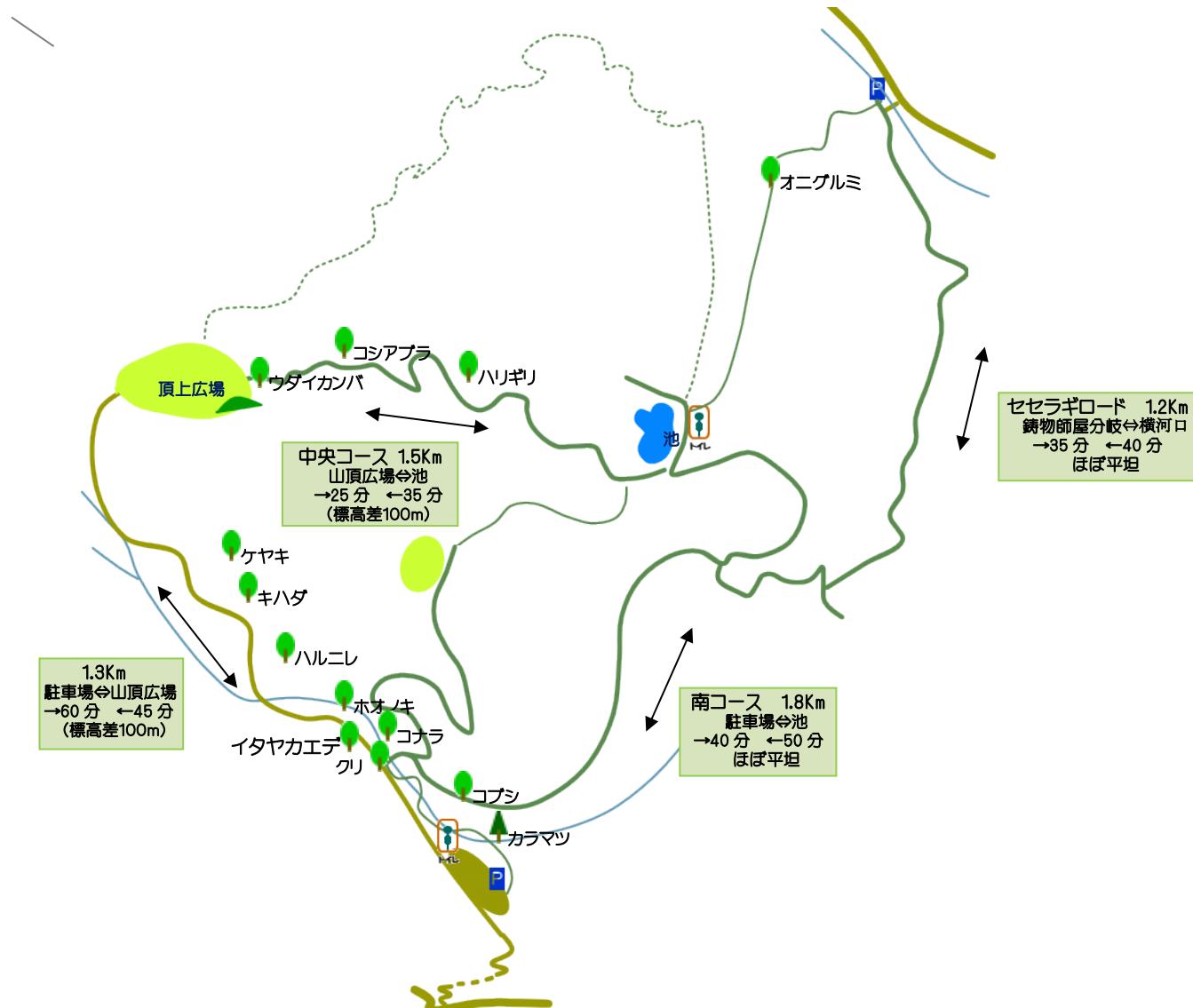


## 市民の森の大木探し

巻き付けて測れば直径が分かるメジャーを持って、樹種毎の大木を捜し、胸高直径（地表から 1.3m の所の直径）を測りました。

- ①クリ 79.3cm (南コース分岐)
- ②ウダイカンバ 78.3cm (頂上)
- ③ホオノキ 70.08cm
- ④カラマツ 69.0cm (沢沿いの小径)
- ⑤コナラ 60.6cm
- ⑥ケヤキ 59.8cm
- ⑦キハダ 49.9cm
- ⑧イタヤカエデ 45.5cm
- ⑨オニグルミ 44.9cm (横河口上)
- ⑩コブシ 41.4cm
- ⑪ハルニレ 40.2cm
- ⑫コシアブラ 35.0cm
- ⑬ハリギリ 33.1cm

今年測ったのはごく一部、今後も、大木捜しは続けます。  
これはと思う樹を見つけたら、測ってみましょう。





5月 アマガエルと薦の吸盤。界が異なるのに同じような吸盤がある不思議。



10月 カナムグラとアオツヅラフジ  
自然界に潜む螺旋の不思議。



9月 ヌルデの虫こぶ（ヌルデノミミフシ）はタンニンを含み染料や医薬品に利用されてきた。ヌルデは虫こぶを作ることで、被害が全体に及ぶことを防ぎ、アブラムシは安全な場と食料を確保。

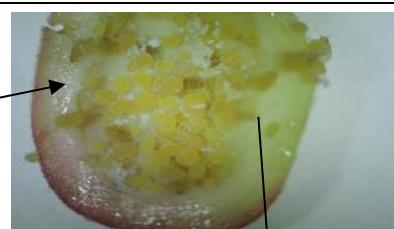
「今日のなんでかな？」の一年  
月例観察会時に市民の森で見つけた「なんでかな～？」と不思議に思った自然のいろいろ。  
小さな命に隠された不思議な秘密に感動の一年でした。



4月 松ぼっくりの螺旋



アンモナイト



ヌルデシロアブラムシ



秋、有翅虫になり寄主転換する。



6月 ツノゼミ 幼虫→成虫



7月 ヘクソカズラの名はその臭気に由来するそうだが（花は甘く良い香り）、ヘクソカズラヒゲナガアブラムシはその臭い成分を身体に取り込み身を守るそうだ。  
驚きの小さな虫の知恵。

## けいちゃん成長

北村すみ江

まとめ会のおすすめ写真は、「けいちゃん成長」です。

月例観察会は、植物、昆虫、動物、野鳥、魚と観察対象が多岐にわたり、何年たっても新たに知ることが多く、実り多い時間でした。

今年は、特に、けいちゃんの成長ぶりを「観察」できたのが大きな収穫でした。

カメラを手にして、ガイドブックを見て、けいちゃんの頭の中にはどのような情報がインプットされたのかしら。

この先、けいちゃんがどんな風に成長し、進化していくのか、できたらずーっと「観察」したいです。



## 一年間のまとめ

黒田キミ

4月からの1年間(実際は8ヶ月間かな?)ほんとに楽しい観察会でした。スタッフ陣の適切な指導と、放任(放任するしかなかつた?)で、私にとっては、学び有り、遊びあり、コミュニケーション有り、で、最高でした。

特に、虫が大の苦手で、目にするのもいやだったのが、生き物のつながりを広く見られるようになり、毛嫌いすることが無くなりました。これは、これまでの人生での大収穫です。

ただただ、花が好きで、植物について知りたい、と言う単純な動機で参加していたのが、なんだか、広く、生き物の世界を俯瞰する視点を持つようになったように感じます。(実際、畑で虫に会っても、まずは見る。以前は、すぐにつぶしたり、殺したりしていたのに。)ちょっと大げさですが、ほんとのことです。

来年も元気で参加できるように、足腰を鍛えておきましょう。皆さん、またよろしくお願いします。